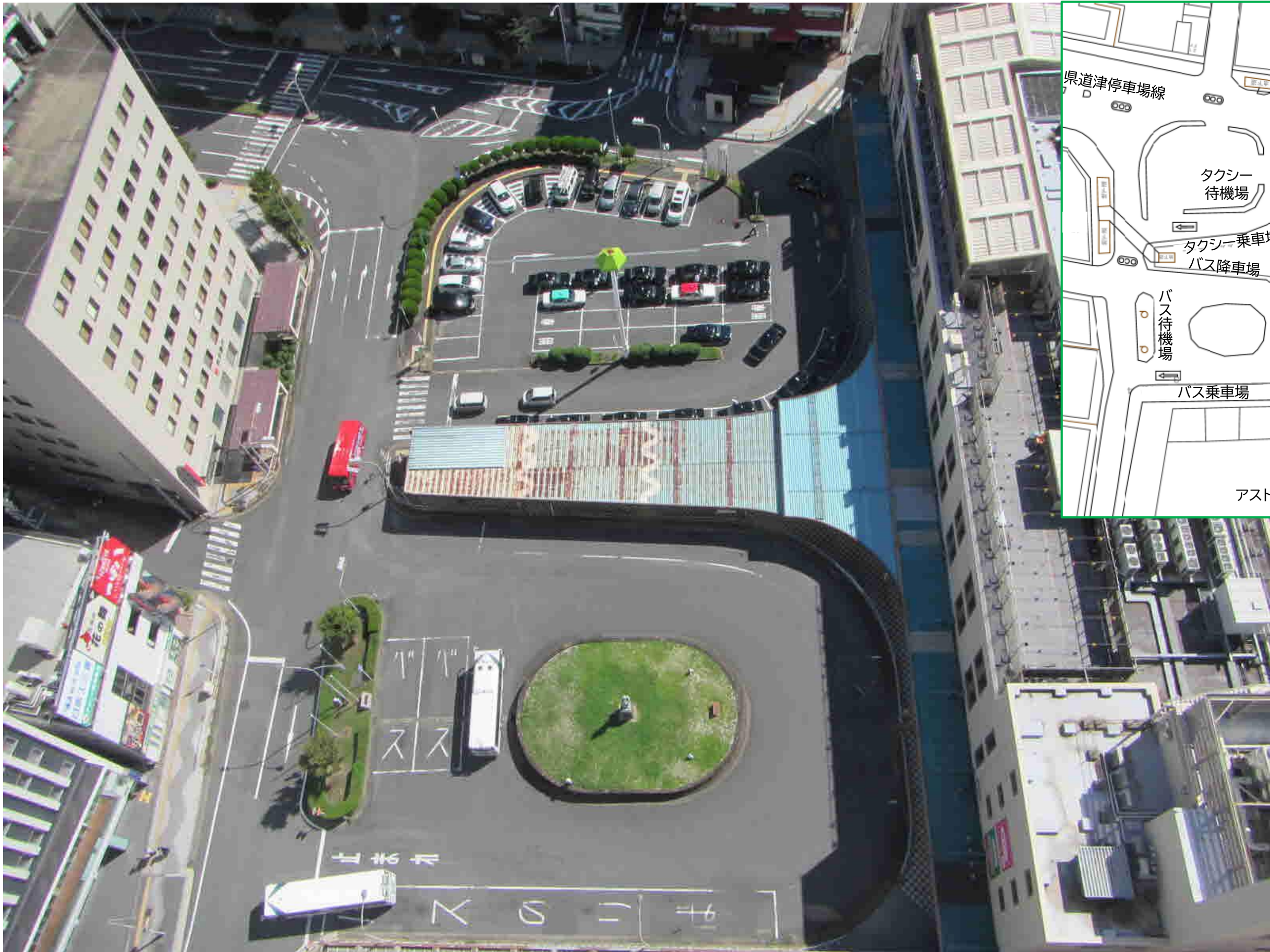


津駅東口の賑わいや滞留空間など 必要とする機能についての意見交換

津駅東口駅前広場の状況



津駅周辺道路空間の整備方針

津駅周辺道路空間検討委員会
令和4年3月24日策定

津駅周辺道路空間の整備方針

～ 現在の駅周辺空間が形成されて約半世紀、新たなステージへ！ ～



地方都市が主役のポストコロナ時代において

みえ県都の顔となり、**地域の活力**を引き出し、**災害にも強い**空間へと再生

(1) 公共交通の利便性の強化 災害時の対応の強化

- ・ 交通結節機能の強化
(バス停、タクシー・自家用車乗降場の再構築)
- ・ 歩行者デッキなどの整備 (東口)



バス新宿



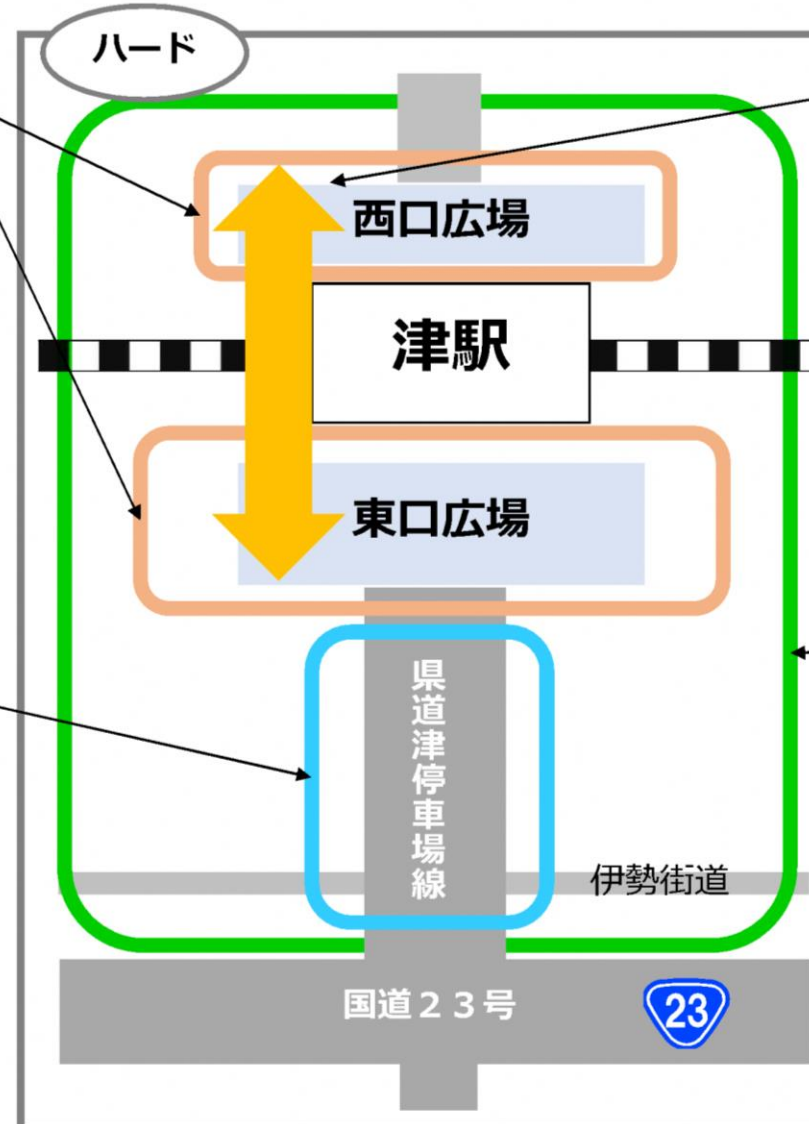
等

(2) 歩行者の賑わいや滞留の強化

- ・ 駅前通りの歩行空間の拡張
- ・ 占用の緩和を通じた民間利用の促進

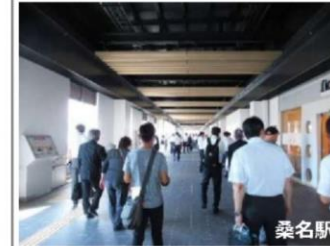


等



(3) 東西連携の強化

- ・ 東西自由通路の整備
(東西を快適に移動し、交流を高める)



新潟駅
Youtube「niigatacitychannel」より引用
等

(4) 駅周辺の回遊性の強化

- ・ ICTを活用した案内看板の設置
- ・ 植栽や美化活動の協働の取組
- ・ 街灯の充実



デジタル
サイネージ



函館駅

等

ソフト

官民協働による
マネジメント

ユニバーサル
デザイン

DX

カーボン
ニュートラル

周辺地域
との連携

※写真はイメージであり整備内容を決定するものではありません

新たな技術や仕組みを積極的に取り込みながら、**継続的な進化**

津駅周辺道路空間の主な課題

(1) 公共交通：歩行者との錯綜、バス停の点在、ロータリーの混雑

バス利用者と歩行者との錯綜

バス利用者の待ち行列と歩行者導線が錯綜。

駅周辺にバス停が点在

中長距離バスや路線バスの乗降場が東西の県道上に立地。

送迎車両による交通混雑の発生

送迎車両の多くが駐停車禁止スペースに一時停車。

ロータリー内やロータリー接続路で交通を阻害。

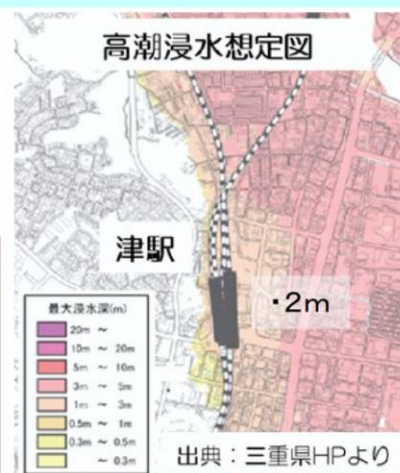


(2) 防災：高潮・津波で浸水する予測

高潮時に2m、津波時に1mの浸水が想定
避難場所や帰宅困難者の受入れ拠点整備、
鉄道の代替としてのバス交通の活用等の検討が必要。

東西連絡通路が浸水の恐れ

浸水により地下道が利用できる可能性がある。



(4) 東西軸：駅舎を自由に通行できない

駅東西地域の分断

津駅の東口と西口を往来する場合、鉄道定期利用者を除いて駅舎内を通行できないため、地下通路、横断歩道橋、駅南側の踏切道を利用して、迂回しながら通行する必要がある。



地下通路
活気が少なく、分かりにくい



横断歩道橋
バリアフリー未対応



踏切道
歩道がなく危険で、遮断時間も長い

(3) 賑わい：賑わいや滞留空間の不足

待ち合わせや集会所が不足

「歩道空間活用のニーズ調査」では、賑わいや滞留空間についてのニーズが多かった。



社会実験を実施

歩道空間拡張に向けて県道を6車線から4車線に交通規制。
⇒交通への大きな影響なし。



社会実験 (交通への影響調査)

(5) 回遊：駅周辺の案内が不足、夜は暗い

来街者への案内の不足

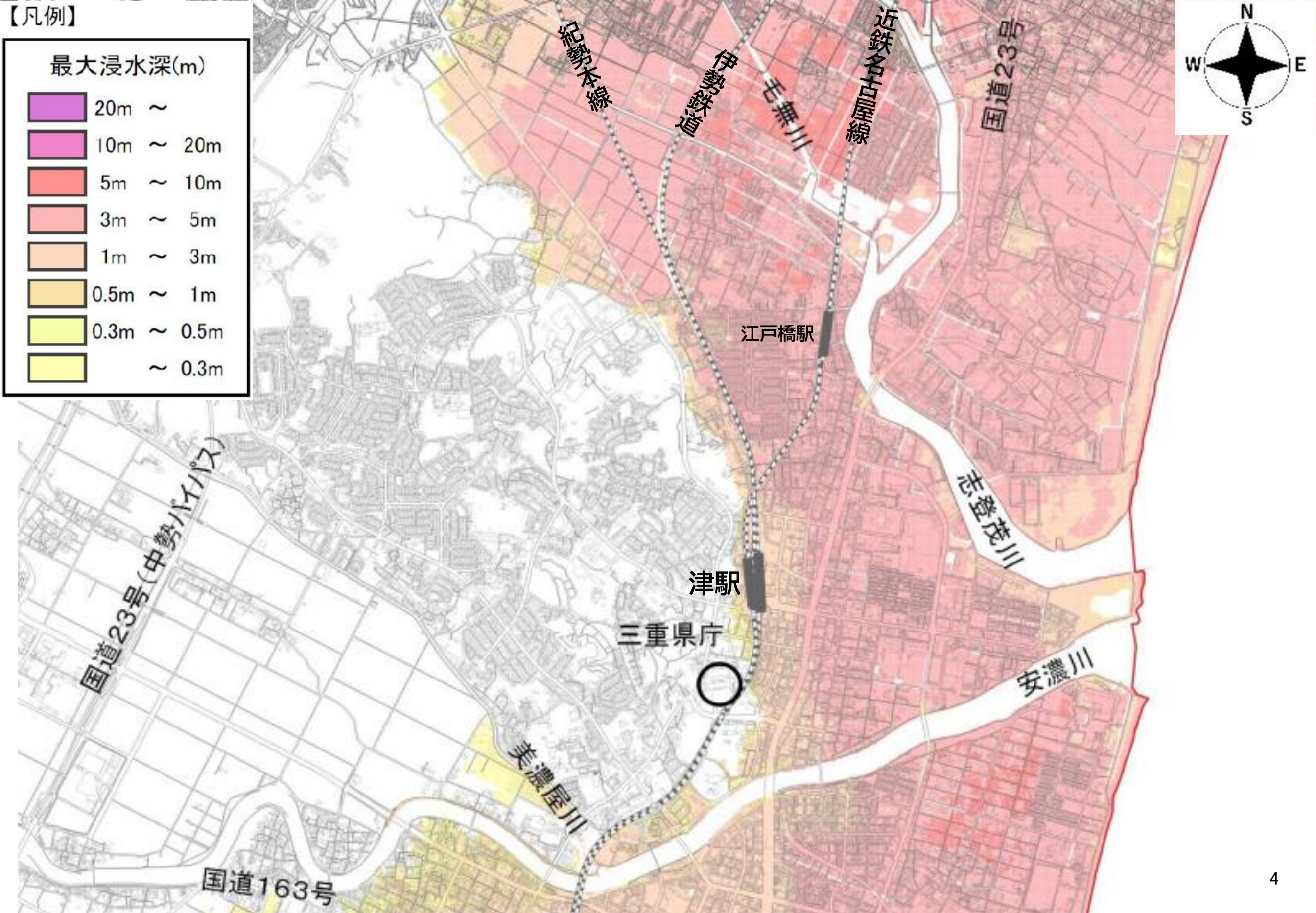
津駅の東口・西口ともに独立した案内板となっており、来街者には分かりにくい状況。また、中通りに入ると、夜は街灯が少なく暗い状況。安心して楽しく歩ける環境を考えていく必要がある。



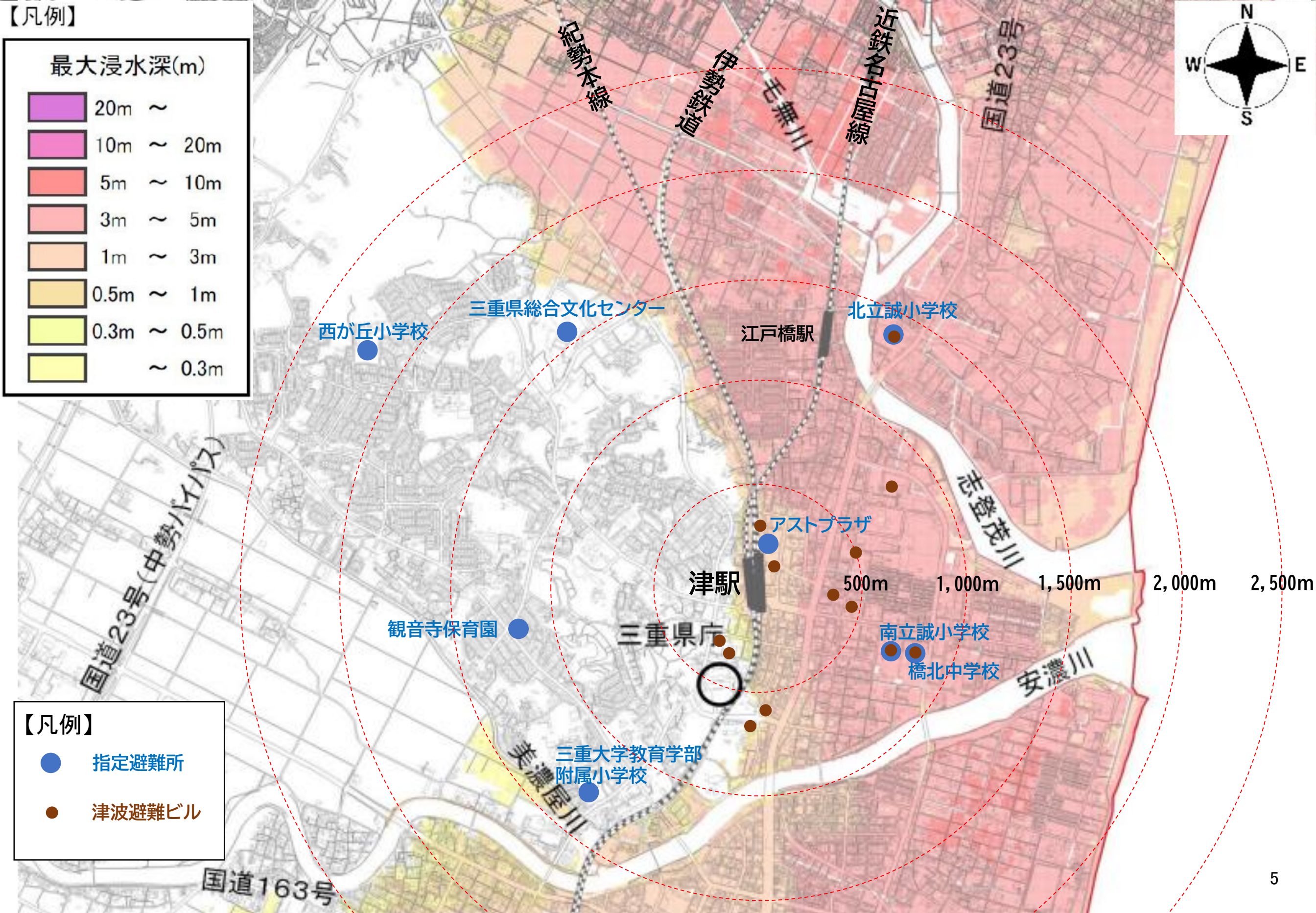
東口・西口ともそれぞれ独立した案内看板



街灯が少なく暗い



津駅周辺の指定避難所、津波避難ビル



津駅東口まちづくり懇話会の設立趣旨・目的

津駅東口周辺の「駅利用者の利便性、快適性の向上」「賑わいの創出」、「回遊性の向上」、「まちの安全性の維持向上」などの意見交換を行い地域の熟度を高めることが重要

地域の方々から意見・希望などを出し合い、意見交換を行う会
津駅東口周辺まちづくり懇話会を設立

意見を取りまとめて
津駅周辺道路空間再編検討委員会へ伝えていく

津駅東口周辺において魅力あるまちづくりを目指す

懇話会

商業団体

地権者

地元自治会

商業者

地場企業

事務局
(津市)

市
まとめた地域の
意見・希望など

津駅周辺道路空間再編検討委員会

- ・道路空間再編(県道の賑わい創出)
- ・交通結節点の機能強化検討(バスタ、駅前広場)

国

県

市